

2017年12月11日（月）までに必ずご投函ください

精神保健福祉士の業務実態等に関する調査 A票およびC票

A票

業務の定義

業務とは、精神保健福祉士にかかわる諸問題に対して、ソーシャルワークの目的を達成するために適切かつ有効な方法を用いて働きかける精神保健福祉士の具体的行為・表現内容を指す。

(精神保健福祉士業務指針第2版 第I部「精神保健福祉士の業務特性に関する整理」)

構成員番号と氏名をご記入のうえ、問1からお進みください。

構成員番号：_____ 氏 名：_____

※構成員番号は封筒の宛名ラベルに記載しています。

問1 あなたは精神保健福祉士として登録していますか？ [ひとつに〇]

1. している → 問2に進んでください。
2. していない → 調査は終了です。返信用封筒で本調査票をご返送ください。

問2 あなたは就労していますか？ [ひとつに〇]

・本設問は、休職中の場合は「1. している」をお選びいただき、B票は回答せずA票とC票を回答してください

1. している → 問3に進んでください。
2. していない → 問11 (C票) に進んでください。B票も回答不要です。

I あなたの主たる勤務先についてお伺いします。

問3 あなたの主たる勤務先での勤務形態についてお伺いします。

(1) あなたは2017年11月中に、以下の時間帯に勤務したことがありますか？
勤務したことがある時間帯すべてを選択してください。 [すべてに〇]

- | | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 5:00～5:59 | 2. 6:00～6:59 | 3. 7:00～7:59 | 4. 8:00～8:59 |
| 5. 9:00～11:59 | 6. 12:00～16:59 | 7. 17:00～17:59 | 8. 18:00～18:59 |
| 9. 19:00～19:59 | 10. 20:00～20:59 | 11. 21:00～21:59 | 12. 22:00～翌4:59 |

(2) 自宅待機等を任されることはありますか？ [ひとつに〇]

1. ある
2. ない

問4 主たる勤務先で、あなたはほかの職種の業務と兼務していますか？ [ひとつに〇]

1. 兼務している → 問4-1に進んでください。
2. 兼務していない → 問5に進んでください。

問4-1 どの職種と兼務していますか？ [ひとつに〇]

1. 事務職
2. 看護職
3. 介護職
4. 看護補助者
5. その他 ()

問5 あなたは主たる勤務先で「精神保健福祉士」として専門性を発揮できる職場にいますか？
 [ひとつに○]

・本設問は、事業所等において法令等に定める人員配置基準上の「精神保健福祉士」として配置されていない場合でも、精神保健福祉士としての専門性が発揮されていると判断される場合は、専門性が「発揮できる職場にいる」もしくは「どちらかというと発揮できる職場にいる」と回答してください。

- 1. 発揮できる職場にいる
- 2. どちらかというと発揮できる職場にいる
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり発揮できる職場にいない
- 5. 発揮できる職場にいない

問6 主たる勤務先での勤続年数は何年ですか？ [数値を記入]

約 () 年

問7 あなたは精神保健福祉分野のソーシャルワーカーとして、通算して何年仕事に従事していますか？
 現在の主たる勤務先での勤続年数を含め、資格取得の有無に関係なく通算してください。
 [数値を記入]

通算 () 年

問8 主たる勤務先において、「精神保健福祉士の資格を持ち、精神保健福祉士としての仕事に従事している人」は何人いますか？ [ひとつに○] [いる場合は人数を記入]

- 1. あなた以外に () 人いる
- 2. あなたしかいない
- 3. わからない

問9 主たる勤務先以外に、同じ法人で兼務している職場はありますか？ [ひとつに○]

- 1. ある
- 2. ない

★次頁の問10は「構成員データ確認票」で選択した主たる勤務先の「勤務先機関・施設種別コード」が以下に当てはまる場合のみ回答してください。当てはまらない場合は、問11に進んでください。

<p><病院・診療所等> 101 精神科病院 102 精神科を有する一般病院（精神病床あり） 104 精神科を有する一般病院（精神病床なし） 105 精神科を有しない一般病院 108 精神科・心療内科診療所（有床・デイケア等実施） 110 精神科・心療内科診療所（有床・デイケア等未実施） 112 精神科・心療内科診療所（無床・デイケア等実施） 114 精神科・心療内科診療所（無床・デイケア等未実施） 116 一般診療所 118 訪問看護ステーション 120 その他の医療機関</p>	}	<p>問10-1に 進んでください。</p>
<p><障害者総合支援法による事業> 201 生活介護 203 共同生活援助（グループホーム） 205 自立訓練 207 就労移行支援 208 就労継続支援A型 209 就労継続支援B型 211 相談支援事業所 213 地域活動支援センター 216 障害者総合支援法によるその他の事業</p>	}	<p>問10-2に 進んでください。</p>
<p><各種学校等> 521 大学 523 幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校 525 専門学校 701 大学等の学生相談室 703 研究機関</p>	}	<p>問10-3に 進んでください。</p>
<p><上記以外の勤務先機関・施設種別コード></p>	→	<p>問11に進んでください。</p>

問10-1 主たる勤務先がコード表の「病院・診療所等」に該当する方にお伺いします。

————→ 回答後、問11に進んでください。

(1) 主たる勤務先で、あなたが兼務している部署すべてを選択してください。 [すべてに○]

- | | | |
|--------------------------|------------------|-----------------|
| 1. 精神科救急治療病棟 | 2. 精神科急性期治療病棟 | 3. 精神療養・社会復帰病棟 |
| 4. 地域移行機能強化病棟 | 5. 精神科一般病棟 | 6. 児童思春期病棟 |
| 7. アルコール・薬物治療病棟 | 8. ストレスケア・リワーク病棟 | 9. 認知症初期集中支援チーム |
| 10. 認知症治療病棟 | 11. 老人性認知症疾患療養病棟 | 12. 精神科以外の病棟 |
| 13. 精神科外来 | 14. 訪問看護指導部門 | |
| 15. 精神科ショートケア・デイケア・ナイトケア | | |
| 16. 医療福祉相談室 | 17. 地域連携室 | |
| 18. その他（具体的に | | ） |

問10-2 主たる勤務先がコード表の「障害者総合支援法による事業」に該当する方にお伺いします。

————→ 回答後、問11に進んでください。

(1) 主たる勤務先で、あなたが兼務している事業種別すべてを選択してください。 [すべてに○]

- | | | |
|-------------|--------------------|-------------|
| 1. 生活介護 | 2. 共同生活援助（グループホーム） | 3. 自立訓練 |
| 4. 就労移行支援 | 5. 就労継続支援A型 | 6. 就労継続支援B型 |
| 7. 相談支援事業所 | 8. 地域活動支援センター | |
| 9. その他（具体的に | | ） |

(2) あなたの主たる勤務先の利用者の中で、精神障害者の割合はどの程度ですか？ [ひとつに○]

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 精神障害者はほとんどいない | 2. 半数程度が精神障害者である |
| 3. 大部分が精神障害者である | 4. わからない |

問10-3 主たる勤務先がコード表の「各種学校等」に該当する方にお伺いします。

————→ 回答後、問11に進んでください。

(1) あなたの主たる勤務先は、以下のどれにあてはまりますか？ [ひとつに○]

- | | | |
|------------------|-----------------------|------------|
| 1. 保健福祉系大学等（4年） | 2. 一般大学等（4年） | 3. 短期養成施設等 |
| 4. 一般養成施設等 | 5. 保健福祉系短大等 | 6. 一般短大等 |
| 7. 1.～6.以外の大学教員等 | | |
| 8. 教育委員会等 | 9. 小学校・中学校 | 10. 高等学校 |
| 11. 研究機関 | 12. 1.～11以外の研究機関（具体的に | ） |

(2) 主たる勤務先の教育・研究機関以外に、精神保健福祉士としての実践現場をお持ちですか？ [ひとつに○]

- | | | |
|-----------|---------------|---|
| 1. 持っていない | 2. 持っている（具体的に | ） |
|-----------|---------------|---|

C票

II. あなたの過去1年以内に、精神保健福祉士として行った業務についてお伺いします。
 (派遣依頼文をもらって業務時間内に参加する場合、休みをとって参加する場合のいずれも含む)

問11 過去1年以内に、精神保健福祉士として行った業務に該当するものすべてを選択してください。
 [すべてに〇]

活動の種類	分類項目	該当するもの すべてに〇		例示
		の業務 主たる勤務先	以外の業務 主たる勤務先	
社会的活動	障害者福祉			各会議への出席・参画 や精神保健福祉士以外 を対象にした指導・講 義・授業などの社会的 活動
	精神医療審査会			
	退院支援委員会			
	障害支援区分の審査判定等に関する会議・活動			
	自立支援協議会に関連する会議・活動			
	地域移行・地域定着支援事業に関する会議・活動			
	成年後見制度に関する会議・活動			
	就労（支援）関連の会議・活動			
	医療観察法に関する会議・活動			
	医療観察法以外の司法に関する会議・活動			
	介護・高齢者			
	介護認定審査会			
	認知症対策に関する会議・活動			
	福祉一般			
	日常生活自立支援事業に関する会議・活動			
	子ども、若者関連の会議・活動			
	自殺対策に関する会議・活動			
	虐待に関する会議・活動			
	雇用・労働			
	産業分野のメンタルヘルス関連の会議・活動			
	他分野との連携			
	スクールソーシャルワーカーとしての業務			
	災害支援に関する会議・活動			
	障害者差別解消法・障害者権利条約関連の会議・活動			
	地域活動・地域づくり			
	当事者会・家族会などの運営協力・会議・活動			
	他法人・他施設運営に関する会議・活動			
	地域づくりや地域内ネットワーク関連の会議・活動			
	ボランティア関連の会議・活動			
	審議会・政策提言			
政策提言に関する会議・活動				
精神保健福祉審議会				
外部評価に関する会議・活動				

活動の種類	分類項目	該当するもの すべてに○		例示
		の業務 主たる勤務先	以外の業務 主たる勤務先	
社会的活動	地域や社会への啓発・教育活動			各会議への出席・参画や精神保健福祉士以外を対象にした指導・講義・授業などの社会的活動
	精神保健福祉に関する普及啓発 (主として市民向け講演会講師等)			
	精神保健福祉に関する研修での指導・講義(対象が精神保健福祉士以外)			
	精神保健福祉士教育機関以外での講義・授業			
	実習生指導(精神保健福祉士以外)			
	勤務先以外での個別支援			
	電話相談(24時間・いのちの電話等の緊急相談含む)			
	その他			
	(具体的に)			
	(具体的に)			
専門職としての向上にかかる活動	精神保健福祉に関する研修での指導・講義(対象が精神保健福祉士)			精神保健福祉士に関わる支援、教育に関する指導・講義・授業など(精神保健福祉士以外に対するものは社会的活動に該当)また自己研鑽のための研修等に参加
	精神保健福祉士教育機関での講義・授業(対象が精神保健福祉士養成課程の学生や精神保健福祉士)			
	実習生指導(精神保健福祉士)			
	日本精神保健福祉士協会・都道府県協会の研修への参加			
	自治体などが主催、関連団体に委託して行っている研修会への参加			
	地域などで自主的に行なっている研修・勉強会への参加(業種・専門職問わず)			
	学会参加(聴講・専門職問わず)			
	その他(具体的に)			
	その他(具体的に)			
研究発表	学会、研究会等での発表： 過去1年間の発表数→()回			精神保健福祉士としての研鑽と向上のための学会・研究会での発表(共同のものも含む)
	学術誌などへの論文・報告の発表： 過去1年間の発表数→()本			
	その他(具体的に)			
	その他(具体的に)			
職能団体活動	日本精神保健福祉士協会・都道府県協会の理事・運営委員などの活動			精神保健福祉士としての職能団体への関与と協力
	上記以外の職能団体理事・運営委員などの活動： 活動数→()団体			
その他に行った活動	(具体的に)			上記以外で過去1年間に関わった活動・会議・任意団体の運営など
	(具体的に)			
	(具体的に)			

Ⅲ. あなたの「業務」に対する認識についてお伺いします。

業務の定義

業務とは、精神保健福祉にかかわる諸問題に対して、ソーシャルワークの目的を達成するために適切かつ有効な方法を用いて働きかける精神保健福祉士の具体的行為・表現内容を指す。

(精神保健福祉士業務指針第2版 第I部「精神保健福祉士の業務特性に関する整理」)

問12 あなたの現在の業務では、以下の項目についてどのように取り組んでいますか？

[項目ごとに該当する数字ひとつに○]

		1 できていない	2 あまりできていない	3 どちらともいえない	4 ややできている	5 できている	6 非該当
	※「本人」とは、精神障害者のことです。						
(1)	本人のニーズを的確に把握すること	1	2	3	4	5	6
(2)	本人が望む暮らしと心地よい環境づくりを促進し、不安を軽減すること	1	2	3	4	5	6
(3)	本人が望む暮らしの実現に向けて計画をともに作成すること	1	2	3	4	5	6
(4)	適切でかつ有効な具体的サービスの提供（介入）をすること	1	2	3	4	5	6
(5)	サービス提供（介入）のプロセスにおける本人及び/あるいは家族とのプロセス評価（モニタリング）をすること	1	2	3	4	5	6
(6)	計画にそって行われた支援内容についての実施評価（エヴァリュエーション）をすること	1	2	3	4	5	6
(7)	本人の望む生活へ向けて必要な関係部署、関係職種、関係機関等へつなぎ、連携や調整、協力を行うこと。または、多機関がかかわる場合には、役割分担や調整などのコーディネートをすること	1	2	3	4	5	6
(8)	家族の自己実現に対する支援を行うこと	1	2	3	4	5	6
(9)	さまざまなレベルにおける人間関係の不安等に対し関係の調整を行うこと	1	2	3	4	5	6
(10)	当該機関で適切なサービスの提供ができない場合は、適切なサービス機関を紹介、もしくは連携・協力をすること	1	2	3	4	5	6
(11)	地域内に適切なサービスがない場合は開発をすること	1	2	3	4	5	6
(12)	サービスの提供にあたるさまざまなプロセスに適切な対応のできる専門職としての研鑽を続けること（研鑽、教育、スーパービジョン、調査、研究）	1	2	3	4	5	6

問13 あなたの現在の業務では、以下の項目についてどの程度重視していますか？

[項目ごとに該当する数字ひとつに○]

		1 重視していない	2 あまり重視していない	3 どちらともいえない	4 やや重視している	5 重視している
	※「本人」とは、精神障害者のことです。					
(1)	本人のニーズを的確に把握すること	1	2	3	4	5
(2)	本人が望む暮らしと心地よい環境づくりを促進し、不安を軽減すること	1	2	3	4	5
(3)	本人が望む暮らしの実現に向けて計画をともに作成すること	1	2	3	4	5
(4)	適切でかつ有効な具体的サービスの提供（介入）をすること	1	2	3	4	5
(5)	サービス提供（介入）のプロセスにおける本人及び/あるいは家族とのプロセス評価（モニタリング）をすること	1	2	3	4	5
(6)	計画にそって行われた支援内容についての実施評価（エヴァリュエーション）をすること	1	2	3	4	5
(7)	本人の望む生活へ向けて必要な関係部署、関係職種、関係機関等へつなぎ、連携や調整、協力を行うこと。または、多機関がかかわる場合には、役割分担や調整などのコーディネートをすること	1	2	3	4	5
(8)	家族の自己実現に対する支援を行うこと	1	2	3	4	5
(9)	さまざまなレベルにおける人間関係の不安等に対し関係の調整を行うこと	1	2	3	4	5
(10)	当該機関で適切なサービスの提供ができない場合は、適切なサービス機関を紹介、もしくは連携・協力をすること	1	2	3	4	5
(11)	地域内に適切なサービスがない場合は開発をすること	1	2	3	4	5
(12)	サービスの提供にあたるさまざまなプロセスに適切な対応のできる専門職としての研鑽を続けること（研鑽、教育、スーパービジョン、調査、研究）	1	2	3	4	5

問12、13の各設問項目は「精神保健福祉士業務指針及び業務分類第1版」の「精神保健福祉士の主要な機能」を引用

問14 あなたの現在の業務において、最も取り組むべき課題だと思ふことを、以下の項目から選択してください。 [ひとつに○]

1. 人々が持っている力を発揮し、主体的に本人が望む生活を実現する
2. 人々の持つ力を肯定的に評価し、主体的に生きられるような支援を行う
3. 組織が人々の人権を尊重し、公共性を保持し、円滑な運営を促進する
4. 地域の中で本人が望む暮らしを保障するための地域づくり
5. 本人が望む暮らしを保障するための社会政策を発展させ、改善する

IV. あなたの主たる勤務先における連携についてお伺いします。

連携の定義

連携とは、共有化された目的をもつ複数の人及び機関（非専門職を含む）が、単独では解決できない課題に対して、主体的に協力関係を構築して、目的達成に取り組む相互関係の過程である。

出典：吉池毅志・栄セツコ（2009）「保健医療福祉領域における『連携』の基本的概念整理—精神保健福祉実践における『連携』に着目して—」『桃山学院大学総合研究所紀要』34（3）、109-122

問15 あなたの業務で日頃行っている連携として、最も多いものはどれですか？ [ひとつに〇]

1. 課題を解決するために、連携相手に協力を打診し、目的の確認と目的の一致を行うことが多い
2. 1.に加え、連携相手と役割と責任の確認を行うことが多い
3. 2.に加え、連携相手と情報の共有を継続することが多い
4. 3.に加え、連携相手と連続的な協力関係の展開を行うことが多い
5. 連携する機会がない

問16に進んでください。

—————→ 問17回答後、問20に進んでください。

問16 問15の「4. 3.に加え、連携相手と連続的な協力関係の展開を行うことが多い」についてお伺いします。

- (1) 問15の「4. 3.に加え、連携相手と連続的な協力関係の展開を行うことが多い」にあてはまる人を<主たる勤務先>と<主たる勤務先以外>から1か月以内によく連携をした順に、それぞれ5人選んでいただき、具体的に回答欄に記述してください（該当者が5人未満の場合はすべてご記入ください）。また、選んだ連携相手にあてはまる機関・部署（選択肢1）、職種（選択肢2）を右記選択肢からそれぞれ1つ選び、あてはまる番号を回答欄にご記入ください。 [回答欄に記入]
- (2) 問16(1)で選んだ人との連携過程における「連続的な協力関係の展開」は、どの程度行っていますか？ 問16(1)で選んだ連携相手それぞれについて、連続的な協力関係の展開程度（選択肢3）を右記選択肢から1つ選び、あてはまる番号を回答欄にご記入ください。 [回答欄に記入]

問16回答欄

<主たる勤務先>

順位	問16(1) 連携相手 (記述)	問16(1) 機関・部署 選択肢1 (※)	問16(1) 職種 選択肢2 (※)	問16(2) 展開程度 選択肢3
(記入例)	精神科病院の医師	1	1	3
1				
2				
3				
4				
5				

※「その他」を選択した場合は、番号とともに自由記述を回答欄にご記入ください。

<主たる勤務先以外>

順位	問16(1) 連携相手 (記述)	問16(1) 機関・部署	問16(1) 職種	問16(2) 展開程度
		選択肢1 (※)	選択肢2 (※)	選択肢3
1				
2				
3				
4				
5				

※「その他」を選択した場合は、番号とともに自由記述を回答欄にご記入ください。

問16選択肢

選択肢1 機関・部署

- | | | | | |
|--|---------------|---------------------------------|-----------|------------|
| 1. 医療機関 | 2. 保健所・保健センター | 3. 精神保健福祉センター | 4. 福祉事務所 | 5. 児童相談所 |
| 6. その他行政機関 | 7. 社会福祉協議会 | 8. 司法関係機関 | 9. 警察関係機関 | 10. 労働関係機関 |
| 11. 教育関係機関 12. 相談支援事業所（特定相談支援・一般相談支援・障害児相談支援事業所含む） | | | | |
| 13. 地域活動支援センター（相談支援事業所除く） | | 14. 就業・生活支援センター | | |
| 15. 地域包括支援センター | | 16. 障害者総合支援法関連事業所（入所・入居・通所施設含む） | | |
| 17. 児童福祉法関連の福祉施設・事業所（障害児を除く） | | | | |
| 18. 老人福祉法または介護保険法関連の福祉施設・事業所（入所・入居・通所施設含む） | | | | |
| 19. 一般企業 | 20. その他（ ） | | | |

選択肢2 職種

- | | | | | |
|-----------------------------|----------------------|----------------|---------------------|-------------|
| 1. 医師 | 2. 保健師 | 3. 看護師・准看護師 | 4. 看護補助者 | 5. 作業療法士 |
| 6. 理学療法士 | 7. 言語聴覚士 | 8. 薬剤師 | 9. 栄養士 | 10. 社会福祉士 |
| 11. 精神保健福祉士 | 12. 心理士 | 13. 介護福祉士 | 14. ホームヘルパー | 15. 介護支援専門員 |
| 16. 相談支援専門員 | 17. 弁護士 | 18. 司法書士 | 19. 民生委員 | 20. 福祉活動専門員 |
| 21. 査察指導員 | 22. ケースワーカー | 23. 児童福祉司 | 24. 児童指導員 | 25. 保護観察官 |
| 26. 社会復帰調整官 | 27. 精神障害者雇用トータルサポーター | | 28. 職業相談員 | |
| 29. スクールソーシャルワーカー | | 30. スクールカウンセラー | | 31. 教員 |
| 32. 保育士 | 33. 障害者職業カウンセラー | | 34. 職場適応援助者（ジョブコーチ） | |
| 35. リワークカウンセラー | | 36. 事務系管理職 | 37. 事務職 | |
| 38. ピアスタッフ、ピアサポーター、ピアカウンセラー | | | 39. その他（ ） | |

選択肢3 連続的な協力関係の展開程度

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 日常的に行っている | 2. 時々行っている | 3. まれに行っている |
|--------------|------------|-------------|

問17 あなたが連携において大事だと思うもの（構成要素）を選び、あてはまる番号をすべて選択してください。【すべてに〇】

1. 課題を解決するために、連携相手に協力を打診し、目的の確認と目的の一致を行うこと
2. 連携相手と役割と責任の確認を行うこと
3. 連携相手と情報の共有を継続すること
4. 連携相手と連続的な協力関係の展開を行うこと
5. その他（ ）

問18 問16で選んだ連携相手との連携において、精神保健福祉士の「価値や理念、視点」を強く意識したことはありますか？【ひとつに〇】

「価値や理念、視点」
個人としての尊厳、精神保健福祉の向上（well-being）、自己決定・自己実現、
ノーマライゼーションの実現、社会的復権・権利擁護と福祉、
共生社会の実現（ソーシャルインクルージョン）、主体性の回復・尊重（エンパワメント）、
ストレングス、リカバリー、当事者との協働（パートナーシップ）など

（精神保健福祉士業務指針第2版 第I部「精神保健福祉士の価値と理念」「精神保健福祉士の視点」）

1. ある
2. ない

問19 問16で選んだ連携相手との連携で得られた「知識や技術」について、あてはまる番号をすべて選択してください。【すべてに〇】

目的達成の過程で得られた「知識や技術」

1. 得られたことはない
2. 医学に関する知識・技術
3. 心理学に関する知識・技術
4. リハビリテーションに関する知識・技術
5. 看護に関する知識・技術
6. 介護に関する知識・技術
7. 法律に関する知識・技術
8. 雇用・就労に関する知識・技術
9. 精神保健福祉に関する知識・技術
10. 関係形成技法
11. 面接技術
12. アセスメント
13. 個別援助技術（ケースワーク）
14. 集団援助技術（グループワーク）
15. 地域援助技術（コミュニティワーク）
16. ケアマネジメント
17. チームアプローチ
18. その他（ ）

（精神保健福祉士業務指針第2版 第I部「技能/技術」の項目及び関係する知識・技術）

V. あなたの主たる勤務先におけるコンサルテーションについてお伺いします。

本調査におけるコンサルテーションの定義

コンサルテーションとは、クライアントを支援する援助者に対する他の専門領域の専門職からの助言のことを指す。

問20 これまでにコンサルテーションを行ったことがありますか？ [ひとつに〇]

1. 行ったことがある → 問21に進んでください。
 2. 行ったことはない → 問22に進んでください。

問21 これまでに最も多くコンサルテーションを行った相手を1人あげて回答欄に記入し、選んだ相手は主たる勤務先の内・外のいずれであるか、あてはまる方に〇をつけてください。また、あてはまる機関・部署（選択肢1）、職種（選択肢2）を下記選択肢からそれぞれ1つ選び、あてはまる番号を回答欄にご記入ください。 [回答欄に記入]

問21回答欄

相手（記述）	主たる勤務先	機関・部署	職種
		選択肢1（※）	選択肢2（※）
（記入例） 地域包括支援センターの保健師	内・ <input checked="" type="radio"/> 外	15	2
	内・外		

※「その他」を選択した場合は、番号とともに自由記述を回答欄にご記入ください。

問21選択肢

選択肢1 機関・部署

1. 医療機関
2. 保健所・保健センター
3. 精神保健福祉センター
4. 福祉事務所
5. 児童相談所
6. その他行政機関
7. 社会福祉協議会
8. 司法関係機関
9. 警察関係機関
10. 労働関係機関
11. 教育関係機関
12. 相談支援事業所（特定相談支援・一般相談支援・障害児相談支援事業所含む）
13. 地域活動支援センター（相談支援事業所除く）
14. 就業・生活支援センター
15. 地域包括支援センター
16. 障害者総合支援法関連事業所（入所・入居・通所施設含む）
17. 児童福祉法関連の福祉施設・事業所（障害児を除く）
18. 老人福祉法または介護保険法関連の福祉施設・事業所（入所・入居・通所施設含む）
19. 一般企業
20. その他（ ）

選択肢2 職種

1. 医師
2. 保健師
3. 看護師・准看護師
4. 看護補助者
5. 作業療法士
6. 理学療法士
7. 言語聴覚士
8. 薬剤師
9. 栄養士
10. 社会福祉士
11. 精神保健福祉士
12. 心理士
13. 介護福祉士
14. ホームヘルパー
15. 介護支援専門員
16. 相談支援専門員
17. 弁護士
18. 司法書士
19. 民生委員
20. 福祉活動専門員
21. 査察指導員
22. ケースワーカー
23. 児童福祉司
24. 児童指導員
25. 保護観察官
26. 社会復帰調整官
27. 精神障害者雇用トータルサポーター
28. 職業相談員
29. スクールソーシャルワーカー
30. スクールカウンセラー
31. 教員
32. 保育士
33. 障害者職業カウンセラー
34. 職場適応援助者（ジョブコーチ）
35. リワークカウンセラー
36. 事務系管理職
37. 事務職
38. ピアスタッフ、ピアサポーター、ピアカウンセラー
39. その他（ ）

問22 これまでにコンサルテーションを受けたことはありますか。 [ひとつに〇]

1. 受けたことがある → 問23に進んでください。
 2. 受けたことはない → A票およびC票はここまでです。B票に進んでください。

問23 これまでに最も多くコンサルテーションを受けた相手を1人選んで回答欄に記入し、選んだ相手は主たる勤務先の内・外のいずれであるか、あてはまる方に〇をつけてください。また、あてはまる機関・部署（選択肢1）、職種（選択肢2）を下記選択肢からそれぞれ1つ選び、番号を回答欄にご記入ください。 [回答欄に記入]

問23回答欄

相手（記述）	主たる勤務先	機関・部署 選択肢1	職種 選択肢2
	内・外		

※「その他」を選択した場合は、番号とともに自由記述を回答欄にご記入ください。

問23選択肢

選択肢1 機関・部署

1. 医療機関
2. 保健所・保健センター
3. 精神保健福祉センター
4. 福祉事務所
5. 児童相談所
6. その他行政機関
7. 社会福祉協議会
8. 司法関係機関
9. 警察関係機関
10. 労働関係機関
11. 教育関係機関
12. 相談支援事業所（特定相談支援・一般相談支援・障害児相談支援事業所含む）
13. 地域活動支援センター（相談支援事業所除く）
14. 就業・生活支援センター
15. 地域包括支援センター
16. 障害者総合支援法関連事業所（入所・入居・通所施設含む）
17. 児童福祉法関連の福祉施設・事業所（障害児を除く）
18. 老人福祉法または介護保険法関連の福祉施設・事業所（入所・入居・通所施設含む）
19. 一般企業
20. その他（ ）

選択肢2 職種

1. 医師
2. 保健師
3. 看護師・准看護師
4. 看護補助者
5. 作業療法士
6. 理学療法士
7. 言語聴覚士
8. 薬剤師
9. 栄養士
10. 社会福祉士
11. 精神保健福祉士
12. 心理士
13. 介護福祉士
14. ホームヘルパー
15. 介護支援専門員
16. 相談支援専門員
17. 弁護士
18. 司法書士
19. 民生委員
20. 福祉活動専門員
21. 査察指導員
22. ケースワーカー
23. 児童福祉司
24. 児童指導員
25. 保護観察官
26. 社会復帰調整官
27. 精神障害者雇用トータルサポーター
28. 職業相談員
29. スクールソーシャルワーカー
30. スクールカウンセラー
31. 教員
32. 保育士
33. 障害者職業カウンセラー
34. 職場適応援助者（ジョブコーチ）
35. リワークカウンセラー
36. 事務系管理職
37. 事務職
38. ピアスタッフ、ピアサポーター、ピアカウンセラー
39. その他（ ）

以上でA票とC票の調査は終了です。

12月6日（水）調査日のB票へのご回答もよろしくお願ひいたします。

その後、返信用封筒にて12月11日（月）までに「本票（A票およびC票）」及び「B票」並びに「構成員データ確認票 兼 構成員名簿掲載等確認票」の3点を入れてご返送ください。

ご協力誠にありがとうございました。